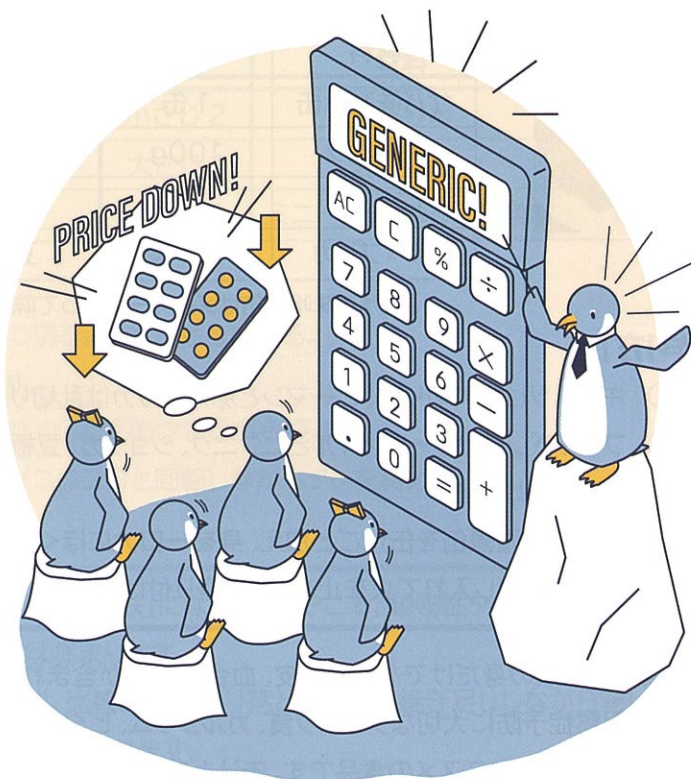


薬がおトクになる方法、知ってた？

# ムダなく おトクに 薬をもらおう

国民医療費のうち、約2割が薬代です。国では医療費の伸びを抑制するため、価格の安いジェネリック医薬品の使用を促進しています。ジェネリック医薬品は、先に開発された「新薬（先発医薬品）」の特許期間が切れたあとに製造・販売される、先発医薬品と同じ有効成分を含み、同等の効果がある薬です。ジェネリック医薬品のほか、受診日数を減らせる方法などもありますので、ぜひ活用してみてください。



## ジェネリック医薬品で薬代を節約!

病院で処方されている薬があれば、医師にジェネリック医薬品かどうか確認し、切り替えが可能かどうか相談してみましょう。

### メリット

- ・薬代が抑えられる
- ・新薬を改良した結果、飲みやすくなっているものもある



※ジェネリック医薬品がない薬の場合や、在庫がない場合があります。  
※医師の判断によりジェネリック医薬品に切り替えができない場合もあります。

## それでもジェネリック医薬品が心配な人は

●お試し調剤を利用する  
短期間だけジェネリック医薬品をお試しできる制度があります。例えば、1か月分のうち1週間だけを調剤してもらい、自分に合わなければ、もとの薬に戻すこともできます。

●AG医薬品を選ぶ  
AG医薬品(オーソライズド・ジェネリック)は、新薬のメーカーから許可を得て製造・販売される、**原材料、製法が新薬と同じジェネリック医薬品です**。安心して使用できます。

## リフィル処方せんで通院費用を節約!

リフィル処方せんは、症状が安定している患者が医師の判断のもとで受け取れる、1回の診療で最大3回まで繰り返し使用できる処方せんです。

### メリット

- ・受診回数が減るため、通院にかかる時間、費用などが軽減できる



※投与量が定められている湿布薬や向精神薬などは対象外です。

## 今後は電子処方せんや電子お薬手帳で!

電子処方せんや電子お薬手帳は、従来紙で行われているものをスマホなどで管理できるようにしたものです。お薬手帳アプリではマイナポータルと連携できたり、オンライン服薬指導が受けられる機能などがあります。

### メリット

- ・重複投薬や危険な飲み合わせを防げる
- ・服薬歴の管理により、残薬を減らせる
- ・旅先や災害時でも薬剤情報を共有できる



## 先発医薬品を使うと負担が増える?

令和6年10月1日から、医療上必要ないにもかかわらず、患者が「後発医薬品ではなく先発医薬品を使いたい」と希望した場合に、両者の差額の一部を患者自身が負担するしくみが導入されました(長期取組品の選定医療)。対象医薬品には保湿剤「ヒルドイド」、花粉症治療薬「アレグラ」、湿布薬「モーラステープ」などがあります。

対象医薬品は ▶  
こちら

